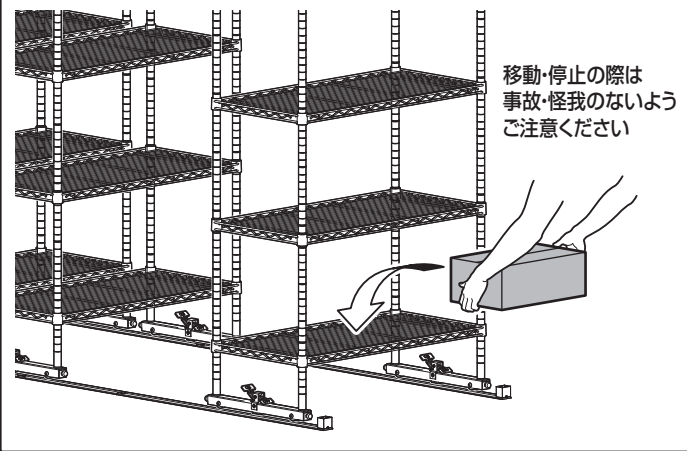


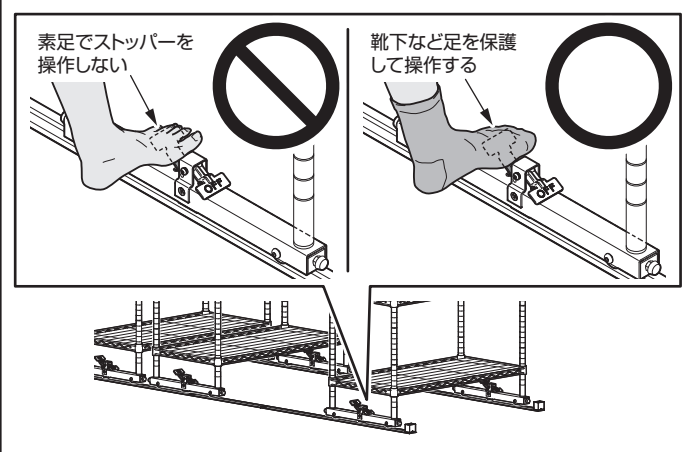
注意事項

物を載せるときは下の棚から載せてください。



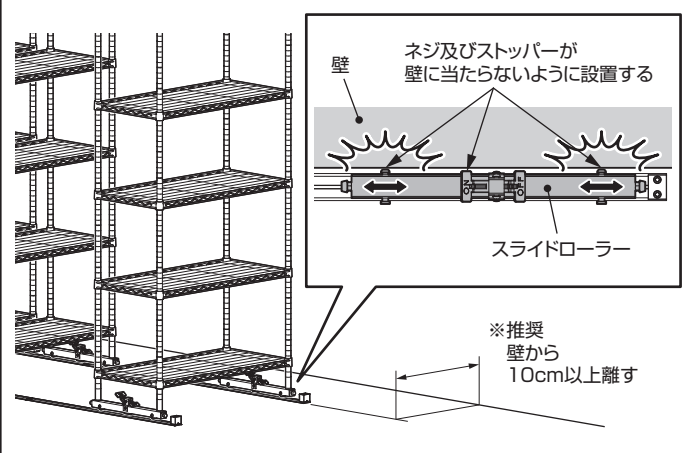
上の棚から物を載せるとバランスが崩れ、棚が転倒する恐れがあります。
また積載量が増えると移動時に勢いにつき、棚が転倒する恐れがあります。
重たい物を下の棚へ載せることで重心が下がり、倒れにくくなります。
※不安定な物は載せないでください。スライド時にその物の転倒や落下の原因になります。

ストッパーは素足で操作しないでください。



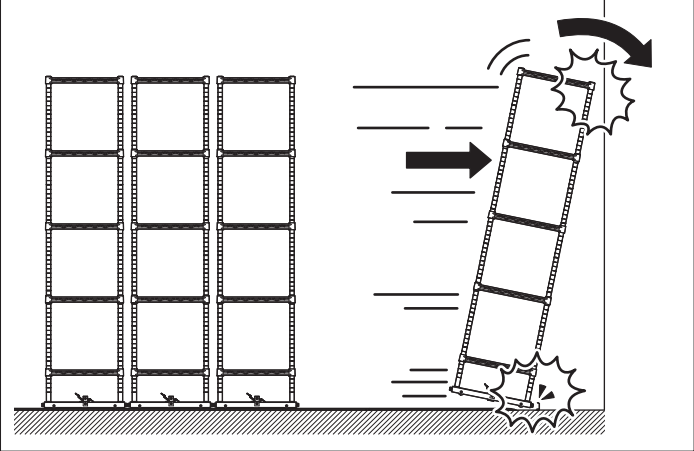
素足で操作をすると、思わぬケガをする恐れがあります。
ストッパーを操作するときは足指の露出を避け、
必ず靴下や靴を履いた状態で踏みつけてください。
また過度な踏み付けは、製品の破損の恐れがあります。

レールを設置するときは壁から離してください。



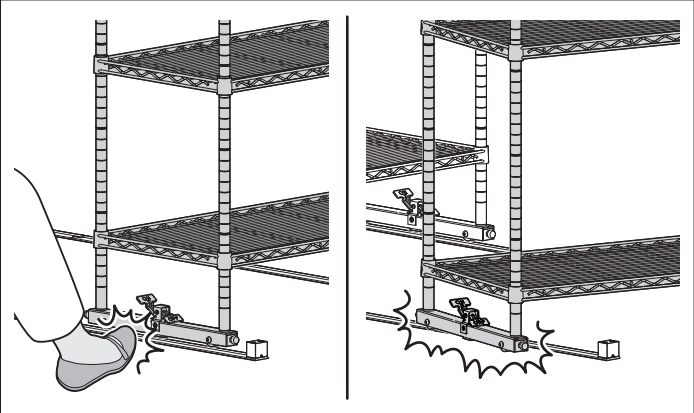
壁に近すぎるとスライドローラーのネジやストッパーが壁に当たり、
壁に傷がつく恐れがあります。

勢いをつけて棚を移動させないでください。



急激に棚を移動させると、脱線・転倒しケガをする恐れがあります。
移動ユニットをエンドストッパーに勢いよくぶつけると転倒の恐れがあります。
またシェルフが外側へ傾き、壁などの破損の原因になります。

脱輪や転倒でズレが生じた場合は必ず元の場所に戻してからご使用してください。



スライドレールにつまづいたり物が当たるとズレが生じ、脱輪による転倒や
床の損傷の原因になります。
その場合は、必ず元の設置場所に戻してからご使用ください。
(戻す際は、必ず積載物を降ろしてから行ってください)

エレクター株式会社

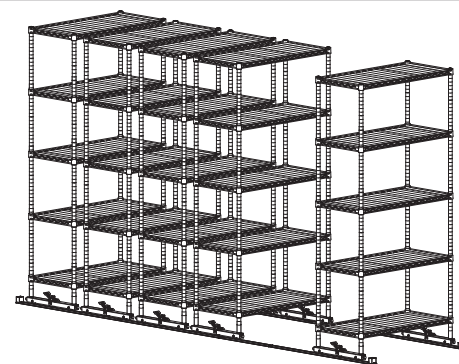
エレクターホームページ <http://www.erecta.co.jp>

ERECTA BASIC SERIES

2024.01

移動ストレージユニット組立説明書

この度は、エレクター製品をお買い上げいただきまして
ありがとうございます。
本製品を安全にお使いいただくために、
この説明書をよくお読みいただき、
内容をご理解のうえ注意事項を遵守していただくよう
お願いいたします。



ご使用前に必ずお読みください

- この説明書はご使用中、分解時に必要となりますので、組み立て後もお手元に保管してください。
- 組み立て前に部品の不足・欠損がないか、必ずご確認ください。
- 組み立ては、この説明書をよくお読みになり、手順に従って正しく組み立ててください。
※ 誤った組み立ては破損やケガの原因となります。
- お取り扱い上の不注意や製品の改造により生じた機能低下や事故については責任を負いかねます。
- ご使用になる方は記載の「警告・注意」をよくお読みいただき厳守していただくようお願いいたします。

警告・注意



警告

- **耐荷重を超えて物を載せないでください。**
耐荷重を超えた負荷を与えると、製品が破損する恐れがあります。
※必ず設置場所の床の耐荷重を確認してからご使用ください。荷重に耐えられない場所でのご使用はお止めください。

棚 一 段 あ た り 耐 荷 重	各シェルフの耐荷重に準ずる
移 動 ユ ニ ッ ト 耐 荷 重	150kg

- **転倒にご注意ください。**
移動ユニットは段差に当たった時や、側面から急に力を加えた場合、転倒する恐れがあります。走行時は床面に注意し、
本体を支えながら移動してください。また積載物の重量が上部に集中しないよう注意してください。
- **本製品に寄りかかったり、ぶら下がったり、上に登るような行為は絶対に行わないでください。**
転倒や積載物の落下により重大な事故となる恐れがあります。
- **製品の改造は機能低下・事故・破損の原因となりますので、絶対におやめください。**
- **移動ユニットを移動する際は、周囲の安全に十分配慮するとともに急な操作をしないでください。**
特に重量物の積載時には慣性が働き、不用意に扱うと重大な事故を起こす恐れがあります。
移動ユニットを動かす際は1ユニットずつ移動させてください。



注意

- 組み立ては安全のため、必ず複数名で作業し、平坦で十分なスペースのある場所で行ってください。
床や壁面の保護のために当て布などを敷いて作業してください。
- 固定部品がズレたり、棚が水平になっていないなど組み立てが不完全な場合は、そのまま使用せずにもう一度組み立てなおしてください。
- 傾斜した所や、段差があるなど不安定な場所には設置しないでください。転倒や積載物の落下により思わぬ事故の原因となります。
- 本製品は屋内仕様となっています。高温多湿の部屋・化学薬品の近く・火気の近く・屋外など異なった環境では使用しないでください。
- 戸当たりゴムやストッパー取付ボルトのゆるみ、移動ユニットの組み付け、レール等を定期的に点検してください。
- 棚位置の高さを変更する際は、上に載っている物をすべて下ろしてから行ってください。物品の破損やケガの原因となります。
- レールとの摩擦で傷つく恐れがあるため、フローリングなど傷つきやすい床材でのご使用はお控えください。

ご使用上の注意

- 棚板のメッシュよりも小さいものは、落下して破損する原因となりますので、載せないようにしてください。
- 酸／アルカリ性の強い環境下での使用は避けてください。
- 清掃の際には中性洗剤をご使用し、水分が残らないよう乾いた布で拭き取ってください。
- 本製品は磁気を帯びる場合があります。
電化製品の中には、磁気の影響を受ける場合があります。
万一異常が生じた場合は、対象機器のメーカーや販売店等にお問合せください。
- ステンレス製品の場合でも、使用環境によっては錆が発生する場合があります。錆の発生を防ぐために、下記内容にご注意ください。
こまめに清掃を行い、表面の付着物を除去してください。

目次

システム構成 P-2
構成部品

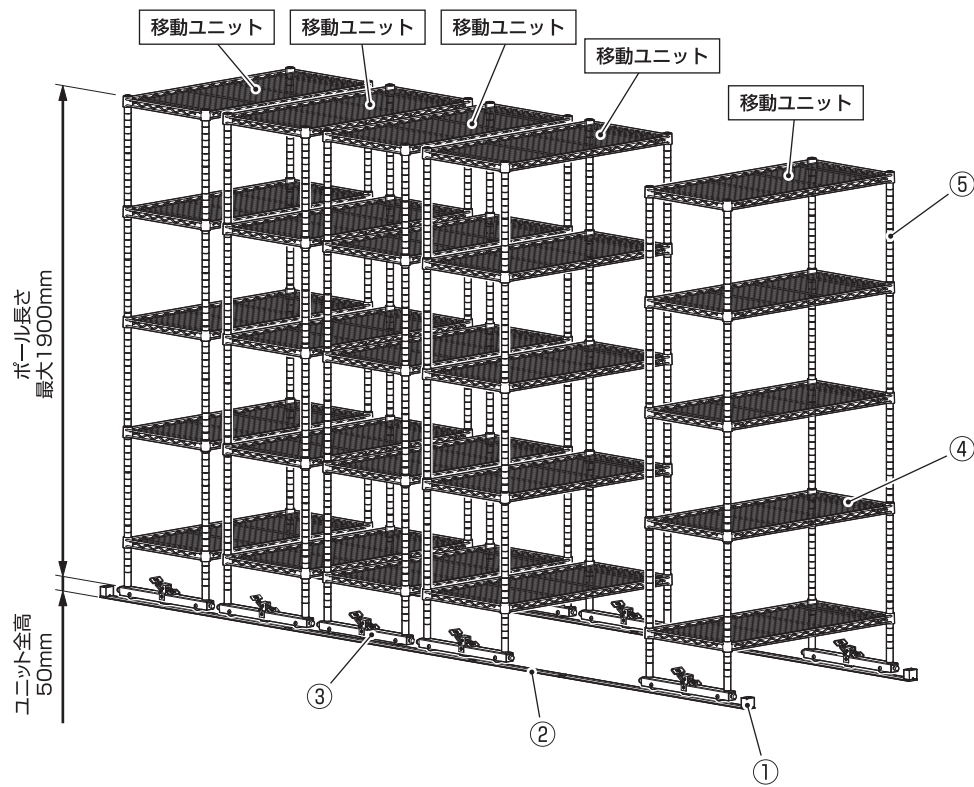
- I. レール組み立て P-3
- 1. エンドストッパーの組み付け
 - 2. 延長レールの連結
 - 3. レールにスライドローラーをセットする
 - 4. ストッパー向き確認
 - 5. スライドローラーにピン取り付け
 - 6. レールの長さに関して

- II. 棚組み立て P-4～5
- 1. アジャストボルトの抜き取り
 - 2. 棚の取り付け位置を決定
 - 3. テーパードスリーブをセット
 - 4. 組み立ては最下段の棚から
 - 5. セットした棚を起こす
 - 6. 棚をスライドローラーにセットする
 - 7. 2段目以上の棚板を組み付け
 - 8. 設置位置の確認
 - 9. 完成チェック

注意事項 P-6

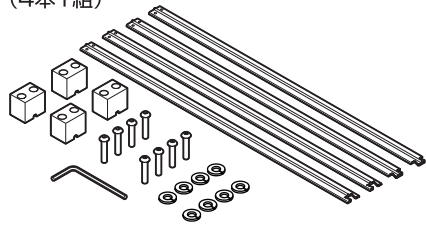
システム構成

●イラスト内の丸数字の部品は次項の「構成部品」を参照してください。



構成部品

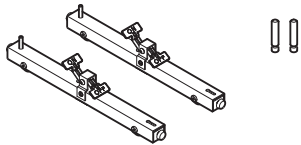
①基本レールセット
(4本1組)



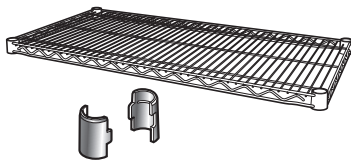
②延長レールセット(500、750、1000)
(2本1組)



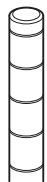
③スライドローラー(D450用、D600用)
(2個1組)



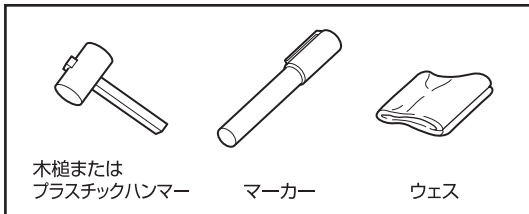
④ベーシックシリーズシェルフ



⑤ベーシックシリーズポール
(4本1組)



●組み立てに便利な工具

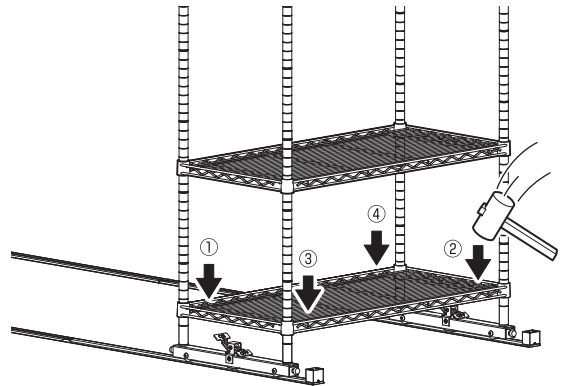


木槌または
プラスチックハンマー

マーカー

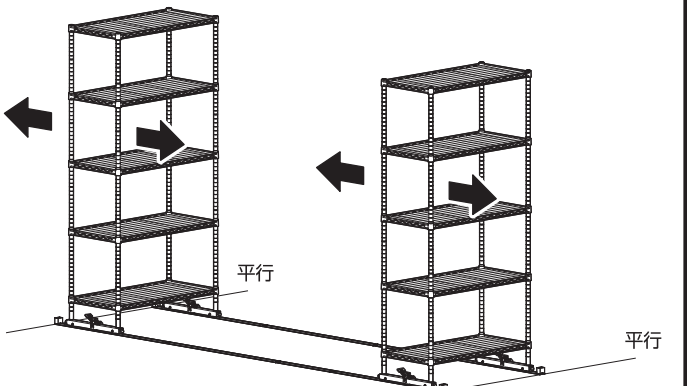
ウェス

7 2段目以上の棚板を組み付け



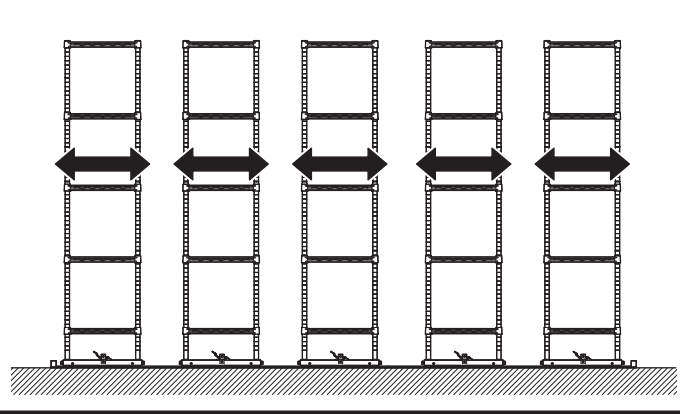
各段の組み付け位置を確認し、2段目以降を組み付けます。
全体が組み上がりましたら、棚位置を確認し
木槌またはプラスチックハンマー等でたたき、しっかり固定します。

8 設置位置の確認



2set組み上げましたら走行を行い、ゆがみやガタツキ、及び移動ユニットが
スムーズに動くことを確認してください。
問題がなければ3set目以降を組み立ててください。
※左右のレールが必ず平行になるように設置してください。
レールが平行になっていないと脱輪や転倒の原因になります。
※スライドローラーが左右のエンドストッパーに同時に当たるように
設置してください。
一方だけに当たるとラックが傾き、脱輪や転倒の原因になります。

9 完成チェック

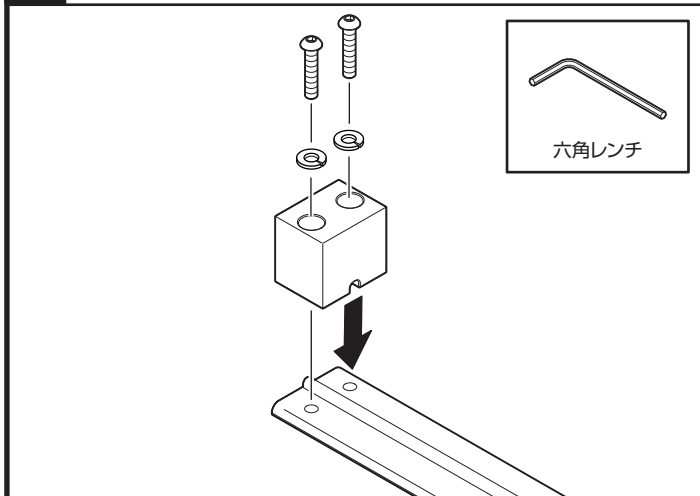


全体が組み上がりましたら、各部のゆがみやガタツキ、及び移動ユニットが
スムーズに動くことを確認します。
※荷物を出し入れする際や、移動ユニットを移動しないときは、
必ずストッパーをかけてご使用ください。
ストッパーを使用することで、より安全にご使用いただけます。

I. レール組み立て

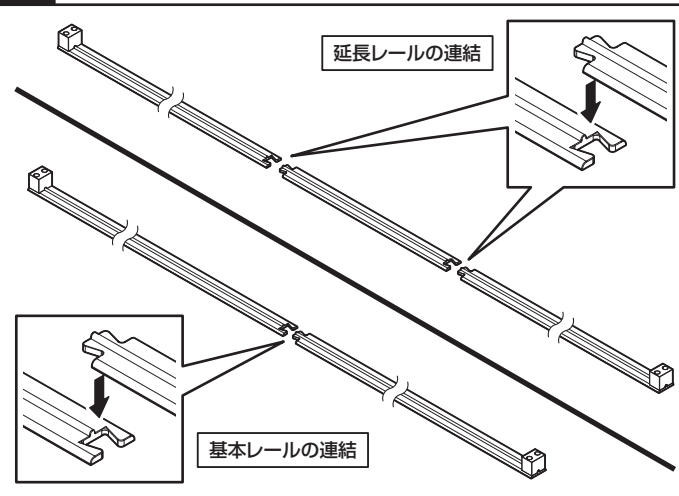
※組立時に本体が転倒しないようご注意ください。

1 エンドストッパーの組み付け



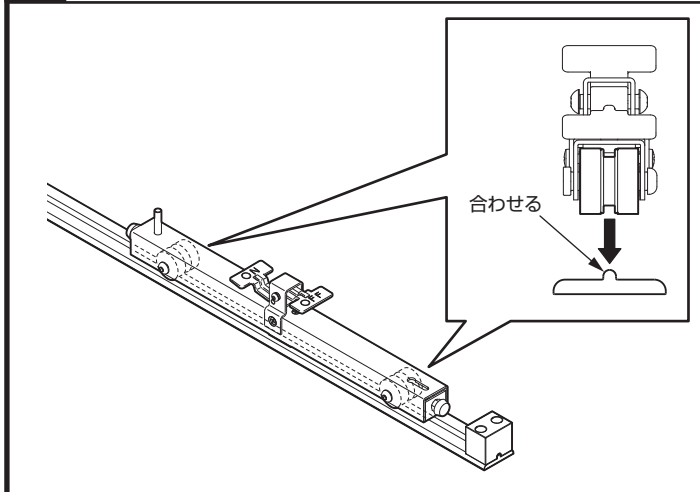
基本レールに付属のボルト及びスプリングワッシャでエンドストッパーを組み付けます。

2 延長レールの連結



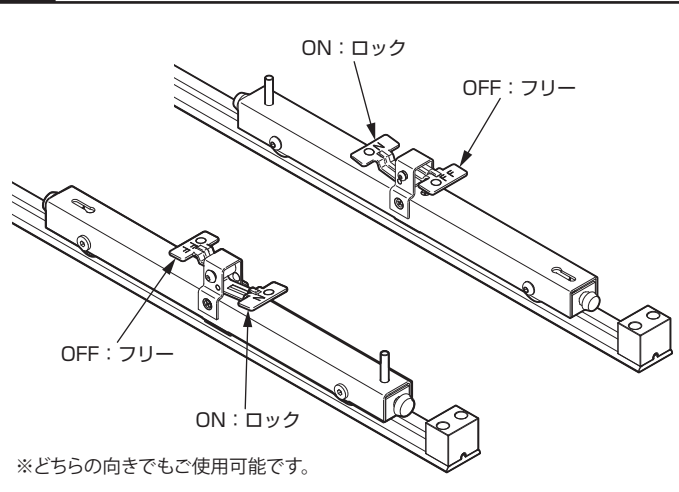
基本レールのオスとメスを合わせます。
延長レールを使用する場合は、必ず基本レールの中間でご使用ください。
レールを設置する際は、必要に応じて両面テープ等で固定してください。
※レールの連結部分に段差ができないように注意してください。

3 レールにスライドローラーをセットする



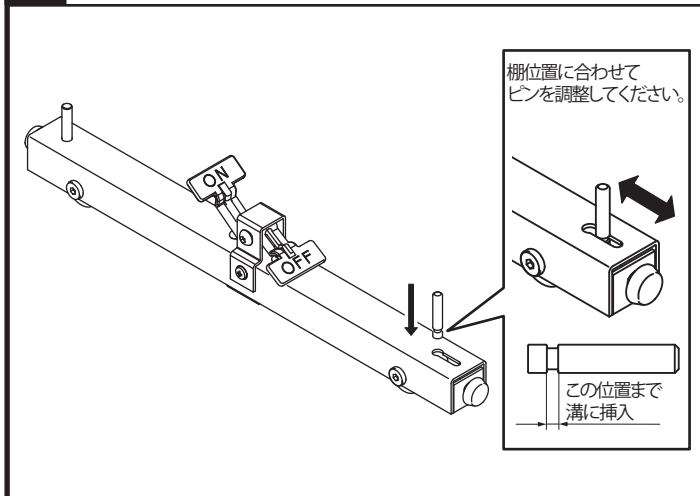
スライドローラーの凹部分をレールの凸部分に2輪ともしっかりとまるようにセットしてください。

4 ストッパー向き確認



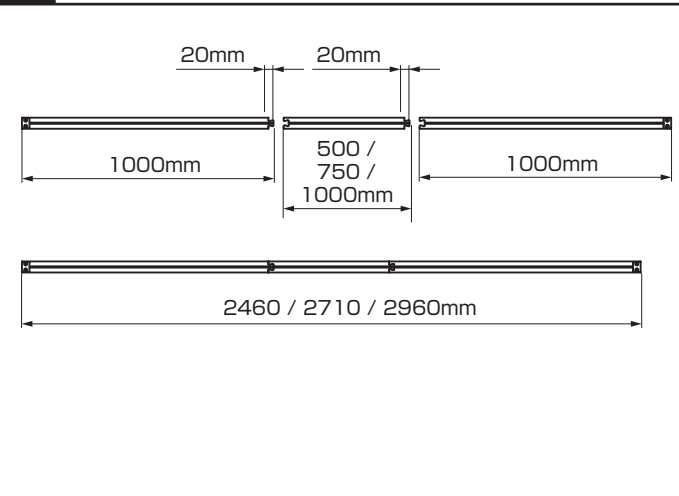
ストッパーの向きを確認してください。

5 スライドローラーにピン取り付け



スライドローラーの長穴側にピンを取り付けください。
ピンの細くなっている箇所まで差し込みましたら長穴部までピンを移動してください。

6 レールの長さに関して

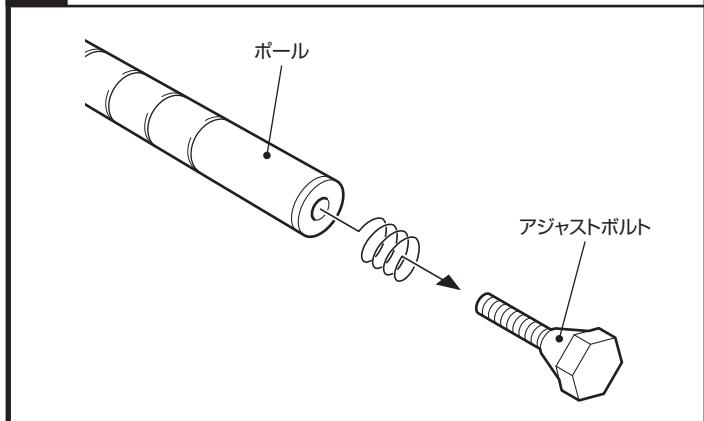


レールを連結すると、ジョイント部の結合部の長さ分、全長が短くなります。

II. 棚組み立て

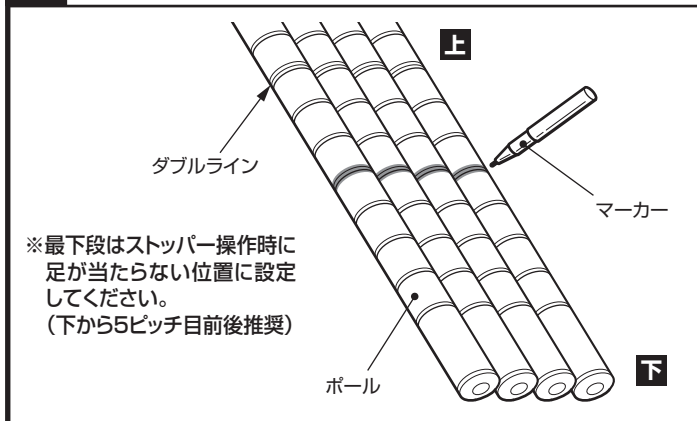
※組立時に本体が転倒しないようご注意ください。

1 アジャストボルトの抜き取り



ポール下部についているアジャストボルトを抜き取ります。

2 棚の取り付け位置を決定

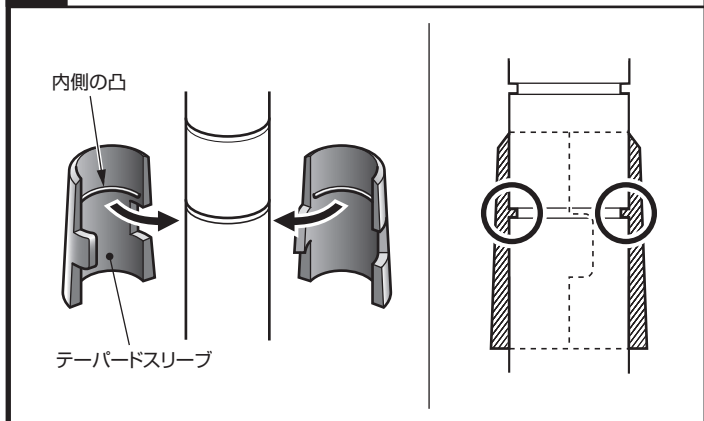


※最下段はストッパー操作時に足が当たらない位置に設定してください。
(下から5ピッチ目前後推奨)

棚に載せる物の大きさに応じて25.4mm(1インチ)ピッチの目盛、あるいは約20cm毎に印されたダブルラインを目安にして、棚の取り付け位置を決めます。この時、マーカーなどでポールに印をつけると便利です。ポールは先端からアジャストボルトを外した方が下になります。

ご注意 ポールや棚を置くときは、壁に立てかけず、床面に横にして置いてください。転倒し床面や家具等を傷つけたり、ケガをする恐れがあります。

3 テーパードスリーブをセット



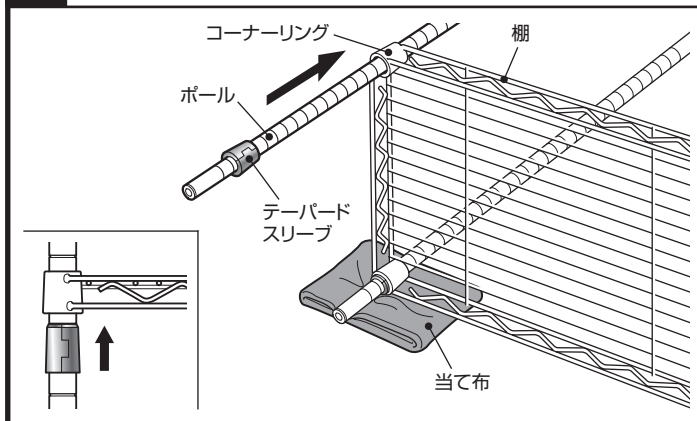
最下段の棚の取り付け位置に、テーパードスリーブの内側の凸とポールの溝が合うように、1枚ずつカチッとセットします。

テーパードスリーブは裾の広がっている方を下向きにしてください。

※棚を一段組み終えるごとにセットしてください。

ご注意 ポールとテーパードスリーブのかみ合いが悪いと、完全に固定できません。棚がずれたり、物が落下して破損やケガの原因になります。

4 組み立ては最下段の棚から

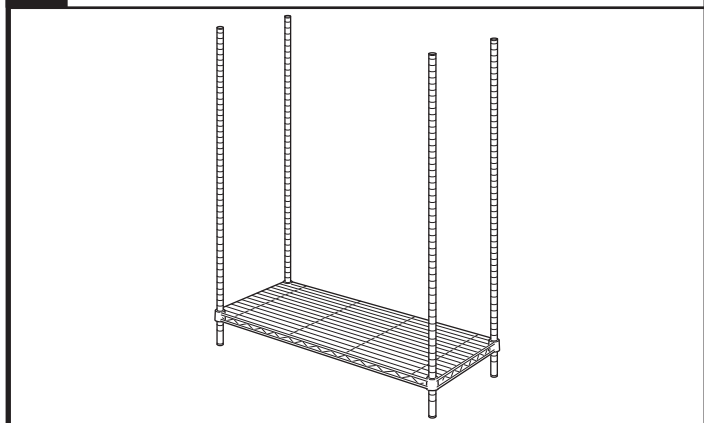


棚を横にして、四隅のコーナーリングにテーパードスリーブがほとんど隠れるところまで、ポールをそれぞれ差し込みます。

※この時点では棚をハンマー等で打ち込まないでください。

ご注意 ポールを差し込む際は、指などを挟まないようご注意ください。床面を傷つけないよう、厚い布等をシェルフの下に敷いてください。

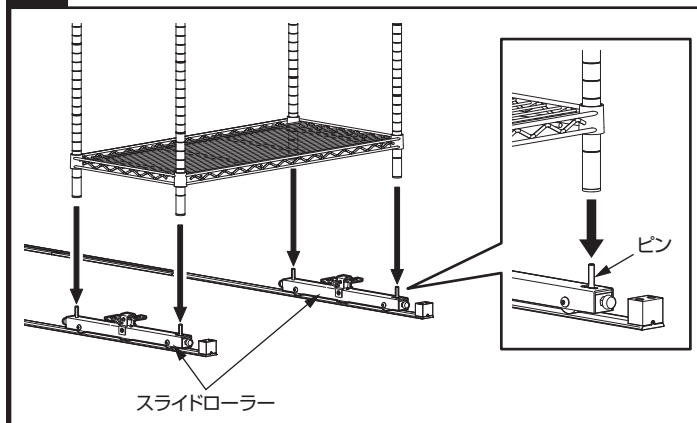
5 セットした棚を起こす



セットした棚を起こします。この時、テーパードスリーブがずれずに棚と正しくかみ合っているかどうか確認してください。

ご注意 安定性のある場所で組み立てを行ってください。
起こした棚が転倒し、ケガや破損を招く恐れがあります。

6 棚をスライドローラーにセットする



棚のポール穴にスライドローラーのピンが入るように棚をセットします。

1-5にて取り付けましたピンをポールの穴に入るように調整してください。

※棚をスライドローラーにセットする時は必ずストッパーがオンになっていることを確認してください。